

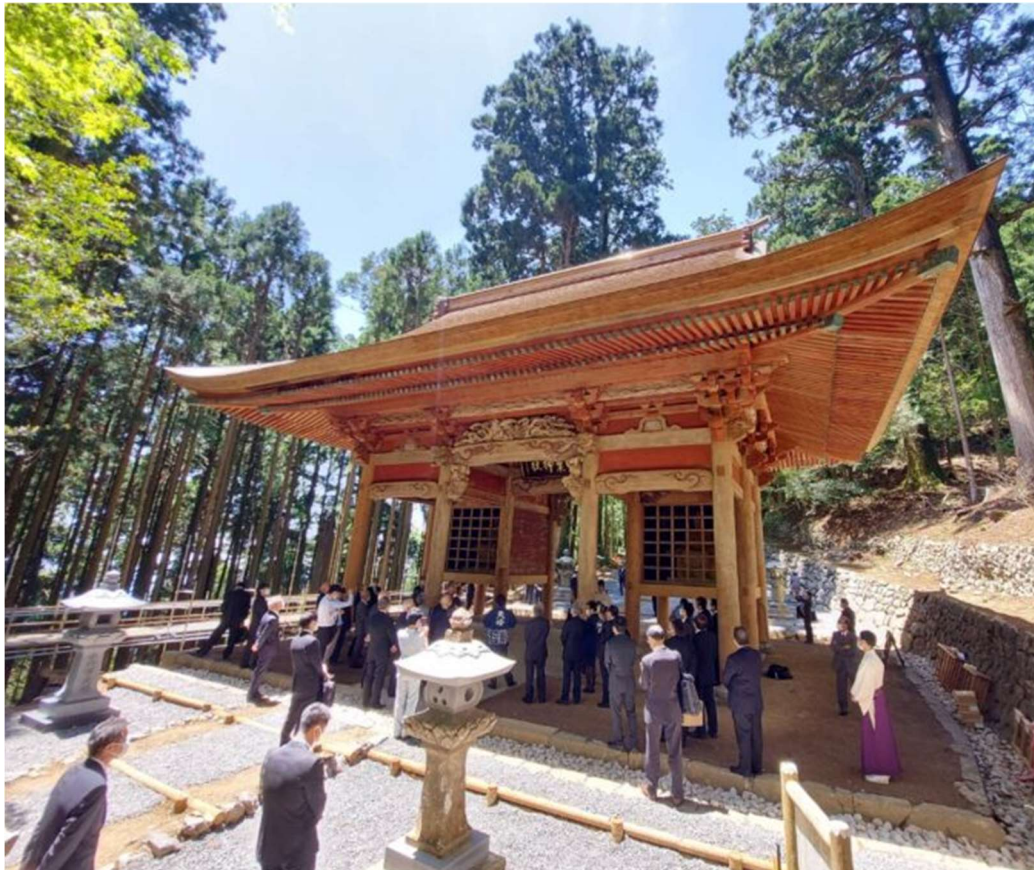
## 秋葉山本宮秋葉神社上社様

### 神門の竣工祭と潜り初め

5月16日、前日の雨から一転、朝から快晴で凜とした空気の中、秋葉山本宮秋葉神社様では浜松市指定有形文化財神門保存修理の竣工奉告祭が本殿で執り行われました。本殿での式典では宮司一拝、献饌に続いて祝詞を奏上。巫女による神楽「珍らしな」が奉奏されたのち宮司や参列者代表が玉串を奉り拝礼しました。一行は神門へ移動し完成を祝し社号額の除幕式及びくぐり初め式が行われました。

式典では3年間に及ぶ工事に従事した弊社武田棟梁が、工事の様子や思いを解説したり本格的な修理は初めてで未来へ向けた本格的修理に携わり良かったと感極まった場面もありました。そして全国各地より宮司様や来賓が訪れ、盛大に完成をお祝いすることが出来ました。

1831年(天保2年)社寺建築や彫刻作品を残す諏訪立川流2代目富昌によって建立された神門(建立時は仁王門)は、約190年の時を経て初めての全解体修理でした。過去に柱饅や彫刻のほか屋根替えや部分補修などの形跡がありました。屋根は昭和30年代にアルミ板葺きに変更されていたものを、創建当初のこけら葺きの姿よみがえり、



素晴らしい過去の遺産を後世に残すお手伝い代が出来て感謝いたします。宮大工の魅力を再確認できた令和の大修理でした。